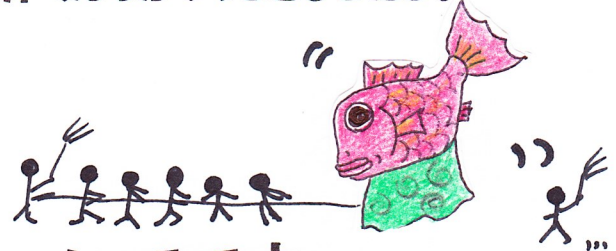




早い・・・とにかく一年経つのが早すぎる(*_*: もう唐津くんちがやってきましたよ。

そうこうしていると、正月が・・・今年もあとわずかです



今月は 犬猫に多い病気についてです。

ガン

近年増加傾向にあるガン。人間同様 遺伝、ストレス、食生活との関係が一番考えられます。体のあらゆるところに発症しますので毎日のボディータッチ等のスキンシップも有効です。

できものだけでなく、一見 ただの皮膚病やシミみたいなもでも **腫瘍**と診断されるものがたくさんあります。

基本的な予防

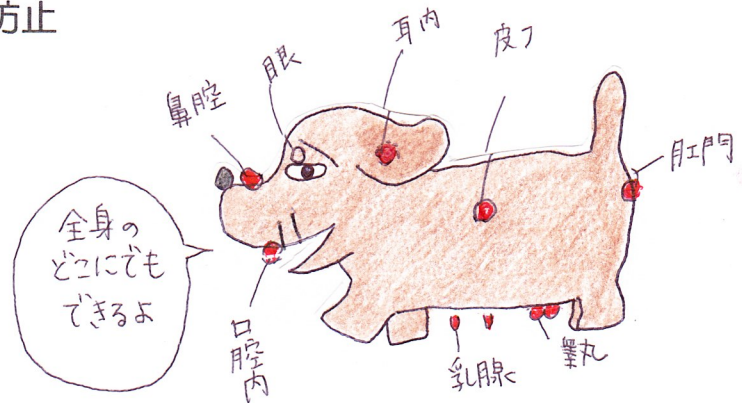
☆不妊手術の実施⇒子宮 卵巣 精巣摘出

☆バランスの良い食事 肥満防止

☆早期発見

☆ストレスの軽減

☆定期健診



心臓病

心臓は酸素や栄養を全身に送り出すためのポンプのような役割をしています。初期は症状が出にくいいため 重篤化してから気付く事が多く、一度悪くなると改善するのは難しく進行を抑える治療になります。先天性のものと加齢性のものがあります。

症状

- ・咳が出る
- ・運動をしたがらない
- ・失神など

基本的な予防

☆正しい食事（バランスのとれた食事 心臓用治療食など）

☆十分な運動

☆正しい生活習慣

☆定期健診（聴診 レントゲン 心エコー ワクチンやフィラリア予防の時の聴診）

じんぞうびょう
腎臓病

尿を作り出して排泄することで体内の老廃物を体の外へ出す役割をしています。
原因としては、遺伝や奇形などの先天性、ウィルスや老化などの後天性があります。

症状

・多飲多尿 ・元気消失 ・体重減少 ・口臭

一度悪くなると改善するのは難しく それ以上悪化させないようにする事になります。

基本的な予防

☆整った食生活（減塩 腎臓用治療食など）

☆定期的な健診（血液検査の数値で状態が分かります）

腎臓病は特に高齢の猫に多発することが多いです。

その他には・・・

犬では 食欲があるのに体重が減少する 極度の肥満 皮膚が赤くなる

全身性の脱毛 など、ホルモン性の病気も多く発症しています

血液検査の数値から原因を突き止めることが出来ます。

猫では 高齢 肥満 ストレス 感染症などが原因になることが多い

糖尿病が多く見られます。

血液中の糖が高いため 尿中に糖分を出し、多飲多尿になります。

飲水を制限すると脱水をおこしさらに状態が悪化してきます。

「年のせいやろも〜ん?!」と思い込まずに ”気になる時” は早めに診察を!!